

## 豊洲新市場の開場に合わせ、QR Translator を活用した 多言語情報表示サービス「Toyosu Market Guide」を導入

多言語表示サービス「QR Translator」の開発・運営事業を手掛ける株式会社 PIJIN（所在地：東京都中央区、代表取締役：松本 恭輔）は、2018年10月11日に移転開場した東京都中央卸売市場「豊洲市場」に多言語表示サービス「Toyosu Market Guide」を導入致しました。

「Toyosu Market Guide」は、豊洲市場に関する情報や見学者コースに設置された歴史や取扱品などを紹介する展示物の内容を15言語で紹介するサービスです。ユーザーは各設置物や展示物に貼られたQRTコードをスキャンするだけ。母国語で説明を確認できます。

豊洲市場は築地市場の移転により開場し、食の安全・安心や効率的な物流、環境対策などの新たな機能に加え、地域の活気やにぎわい創出にも寄与する魅力ある中核市場です。

築地市場と異なり専用の見学者ルートが整備され、見学だけでなく場内の飲食・物販店舗が利用できます。入場無料で予約不要。



参考：展示物に貼られたステッカー、見学者コースに設置されているパネル

## ■対応言語

15言語（日本語、英語、中国語簡体字、中国語繁体字、韓国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、マレー語、アラビア語）



参考：QRTコードを読み取り表示されるページ（左から日本語、英語、簡体字、韓国語）

## ■豊洲市場の飲食・物販店舗及び見学者通路の一般の方のご利用等について

最新情報は以下のホームページをご確認ください。

[http://www.shijou.metro.tokyo.jp/press/2018/1004\\_2.html](http://www.shijou.metro.tokyo.jp/press/2018/1004_2.html)

### 【多言語表示サービス「QR Translator」について】

QR Translatorは株式会社PIJINが提供しているQRコードを使った多言語表示サービスです。ユーザーがQRコードをスキャンするだけで、ユーザー端末の設定言語が認識され、自動的に翻訳文を表示します。

QRコード（二次元コード）を利用した、情報インフラ・プラットフォーム

外国人が母国語で情報が読めるように、多言語のコンテンツをつくる仕組みを提供



■利用イメージ：神奈川県藤沢市、奈良県奈良市、愛媛県内子町



■主な機能

- ・専用アプリ不要：QRコードをスキャンするだけなので、専用アプリのダウンロード不要
- ・39言語対応：最大15言語の選択が可能
- ・貼り替え不要：web上で簡単にコンテンツの修正・更新が可能
- ・音声読み上げ機能つき：障がい者の方にも情報を届けられるインフラ・サービス

■主な受賞実績

- ・2016年 世界発信プロジェクト「革新的サービス大賞」
- ・2017年 Keihanna Venture Championship「特別賞」
- ・2017年 九都県市のきらりと光る産業技術表彰「東京都代表」
- ・2018年 ジャパン・レジリエンス・アワード「強靱化大賞」

※「QR Translator」は株式会社PIJINの登録商標です。

※「QR Translator」の仕組みは、日本と米国、ロシア、中国、香港でビジネスモデル特許を取得済みです。

【株式会社PIJINについて】

本社：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-6-3 山本ビル別館8階

代表者：代表取締役社長 松本恭輔

TEL：03-4531-9690

URL：<https://jp.qrtranslator.com/>

事業内容：多言語表示サービスの開発・運営事業